

第8回

# あれから30年 NVNAD2025プロジェクト

## ～みんなが助かる社会をめざして～

要申込み

2025年 8回シリーズ最終回(参加費:500円)

2月9日 日 14:00-16:00

会場：西宮市総合福祉センター2階研修室

地震や水害など災害が各地で多発しています。これはもう他人ごとではありません。自分たちの身近な『わがまちの防災・減災』について、この機会に一緒に考えてみませんか？

プログラム (受付:13:30~)

14:00 開会挨拶  
:05 イントロトーク  
:10 鼎談開始

参加賞  
あり

テーマ 総括鼎談「まちごと防災のすすめ」

<対談者>五十音順・敬称略

- ・渥美 公秀(NVNAD理事長)
- ・石塚 裕子(東北福祉大学 教授)
- ・矢守 克也(NVNAD理事)

<進行>

- ・渥美 公秀(NVNAD理事長)
- 15:50 閉会挨拶
- 16:00 終了

※(内容は一部変更になる可能性があります)



定 員：50名（先着順）※定員になり次第締め切ります。

主 催：認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク (NVNAD)

共 催：大阪大学災害ボランティアラボ

協 賛：一般社団法人 日本損害保険協会

後 援：兵庫県、西宮市、西宮市社会福祉協議会、NHK神戸放送局、サンテレビ、さくらFM

神戸新聞社、読売新聞阪神支局、朝日新聞阪神支局、毎日新聞阪神支局、産経新聞神戸総局（順不同）

お申込み  
お問い合わせ

日本災害救援ボランティアネットワーク事務局

TEL: 0798-34-9011 メール: nishinomiya@nvnad.or.jp

QRコードからもお申込みができます⇒



# 対談者紹介

渥美 公秀

(大阪大学大学院 教授)



専門は社会心理学。  
防災講座の実績多数。NVNADには発足当初から携わり、長年、理事長を務める。  
中越地震、東日本大震災にも救援から復興へと関わってきている  
・著作  
「災害ボランティア」、「集落<復興>」など多数。

石塚 裕子

(東北福祉大 教授)



専門は、まちづくり学（工学）、インクルーシブデザイン。日本福祉のまちづくり学会副会長。障害者をはじめ多様な当事者が、防災や復興、観光などのまちづくりに参画できる環境やプロセスについて研究している。岩手県野田村や倉敷市真備町などの被災地で活動している。  
・著作  
「誰もが<助かる>社会」など多数。

矢守 克也

(京都大学防災研究所教授)



地域防災、防災教育、災害情報に関する研究・実践活動を実施するとともに、講演、テレビ出演などの普及啓発活動にも多数従事。開発した防災教材に「逃げトレ」「クロスロード」など。「避難学」「防災心理学入門」、「防災・減災の人間科学」など著書も多数。



## 開催趣旨

日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）は、1995年1月17日の阪神・淡路大震災をきっかけに、西宮市役所内に発足したボランティア団体（当時の名称は「西宮ボランティアネットワーク（NVN）」）です。発災当時、西宮市役所と連携して被災者の支援活動に従事したことが、のちに「西宮方式」と呼ばれるようになりました。発足以降、各地で発生した地震や水害など、これまで数多くの災害現場へ赴き、ボランティアの皆様と一緒に支援活動に関わってきました。また、それら被災地支援で学んだ教訓や経験をもとに、講演会や防災イベントを実施するなど、日頃の防災・減災の啓発活動にも精力的に取り組んできました。2025年1月17日にあの日から30年を迎えます。これまでの活動全体をふりかえり、当団体が様々な人たちと共に培ってきた災害救援や防災・減災のノウハウや経験を市民の皆様にお伝えしたいと思います。『みんなが助かる社会』を目指し、地域の絆やつながりの重要性を再確認し、この大切な想いや活動を未来につなげていくことを目的に、8回シリーズの公開シンポジウムを開催いたします。

## NVNAD団体紹介



1995年1月20日ごろ。西宮市役所で支援物資を地下に搬入する市民ボランティア。この活動を原点として、その想いを継承し現在の活動の礎としています。



当団体は、阪神・淡路大震災から現在まで、災害が発生するなどの緊急時は被災地の救援活動、復興支援活動を続けてきました。また平常時には、地区防災計画づくりの為のまちごと防災セミナーや当団体が制作した防災アニメを活用したおやこ防災講座を行うなど、防災啓発活動にも力を入れています。